

# 美咲町立加美小学校の教育理念

## 幸せを創り出す力を子どもたちに

美しいなでしこの花、古くから校歌に歌われているこの花は、漢字で書くと「撫子」と書きます。「撫でたいくらいかわいい子」という意味が由来という説もあります。この学校の花がなぜなでしこのか、その理由を記したものは残っていません。しかし、なでしこは加美小学校の児童をたとえていることに間違いはないでしょう。



そしてこの花を学校の花にすることで、きっとここに集うすべての人が、地域が、加美小学校の子を慈しみ愛情を注いでいることを伝えているのだと思います。

今、時代は今大きく変わりつつあります。しかし、「なでしこ」に思いを託した時代から私たちが子どもたちの将来に望むことはひとつです。・・・「幸せになってほしい」

しかし、一人だけが幸せになることを願っているわけではありません。本当の幸せは、社会全体の幸せの中にあります。幸せが誰かの不幸の上に成り立っているのではいけないのです。だれにとっても幸せである社会を創ることは、人類の究極の願いです。それは、もはや人類の問題にとどまらず、環境を含め、生きとし生けるものすべてにとって「よりよき」ことが、人類にとっての「よりよき」社会に必要なことは、明白なのです。

わたしたちは、子どもたちが人から与えられた「幸せ」をただ享受するのではなく、自分から学び考え、そして他人の気持ち理解し、自分の良さを生かしながら、周りとは協働して「よりよき」生活を創り出していく、「よりよき」社会を創り出していく、そんな人に育てたいと考えます。それは未知なる未来を切り拓くチャレンジャーを育てることであり、自分の良さを最大限に生かし、自分の人生を「幸せ」に導く内なるリーダーを育てることであり、ほかの人や社会や環境と関わり合いながら、社会の一員として活躍する「社会人」を育てることです。

そのためにわたしたち教職員は、「学ぶ」とは何かを問い直し、小学校時代の子どもたちの健康的な発育に必要な「遊び」や「自立」へと向かう健全な心をどう育てるか、児童育成のプロフェッショナルとして絶えず研鑽し、子どもたちに寄り添い実践して行かなければいけません。

平成30年度、加美小学校教職員は、これらの理念の元、カリキュラムマネジメントを行い、平成31年度新たな出発をすることになりました。校長として職員みんながこの理念を創り出したことを誇りに思うとともに、この先困難や修正があろうとも、私たちがいつでも子どもたちを愛し、彼らの「幸せを創り出す力」獲得への「応援者」「支援者」であることを忘れない限り、私たちのミッションは必ず成功すると信じています。

美咲町立加美小学校

校長 梶並 裕子